

1. 令和5年度事業計画

横浜市若葉台地区センター 令和5年度 事業計画及び収支予算

1. 施設の概要

施設名	横浜市若葉台地区センター
所在地	横浜市旭区若葉台三丁目4番2号
構造・規模	鉄筋コンクリート造、地上13階建、1・2階部分
敷地・延床面積	専有面積 1,589㎡
開館日	昭和58年2月15日

2. 指定管理者

法人名	一般財団法人 若葉台まちづくりセンター
所在地	横浜市旭区若葉台三丁目5番2号
代表者	理事長 監物 宏之
設立年月日	昭和53年9月26日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

3. 指定管理に係る考え方

(1) 管理運営について

若葉台団地の人口においては、平成4年の2万1千人弱をピークに人口減少が進み、令和4年3月末時点では13,405人になりました。また、65歳以上の人口が53.6%（令和4年3月末）と高齢者の割合が非常に高い超少子高齢化の街となっております。未だ続くコロナ禍の影響は、様々な方面に表れています。オンライン化やデジタル化が進みました。一方で外出制限や活動を長く制限した結果、心身の健康状態に影響が出てきました。健康で生きがいを持って過ごすためには、「人と人との繋がり」「人との交流」が大切であることがわかり、地域でも活動を再開し始めています。この中で、地区センターは若葉台の中央地区にあり、地域住民の交流の場・居場所として大きな役割を果たしています。

「地域住民の自主的活動や相互交流、地域コミュニティの場」という設置理念を踏まえながら、時代に合った運用をしていきます。皆様に支えられながら開館40周年を迎えることができました。コロナ禍の影響は地区センターも受けております。個人利用はコロナ前の5割です。特に夜間の利用が減少し未だに元に戻りません。コロナ禍でも出来るだけ「趣味や生涯学習の機会」「人との繋がり」が継続できる方法を考えます。

幼児から高齢者までの皆様が安心と安全に気持ち良くご利用できる地区センターを目指して、下記のような取り組みを行います。

①ご利用しやすい環境づくり

指定管理者と館長・副館長との定期会合及びスタッフ会議で、運営上各スタッフが気づいたこと、ご利用者の声等を共有してスタッフのスキルアップを図ります。

- ・スタッフ一同、明るい挨拶でご利用者をお迎えし、コミュニケーションを図ります。
- ・作業スタッフによる日常清掃の他、コミュニティスタッフによる清掃及び定期的な消毒で館内の清潔な環境を保ちます。
- ・ご利用者に対して、利用者会議及びアンケートによる意見や要望をお聞きし、対応できることについては、速やかに対応していきます。
- ・部屋利用申込について、従来の来館・電話予約に加え、ネットからも予約できるようになりました。予想以上にネットからの予約が多かったので、利用の拡大が期待できます。

また、職員の事務処理作業も軽減しました。

- ・ SNS (LINE・Instagram・Twitter) を活用して広く情報発信して地区センターを知ってもらい、稼働率の低い夜間の部屋利用や料理室の利用拡大に努めます。

②幅広い自主事業展開

横浜市のガイドラインに従いながらコロナ禍でも安心・安全に開催できる方法を考えます。コロナの感染状況によっては、オンライン配信なども導入します。

幼児から高齢者まで幅広い層で楽しめる事業の企画を行い、地域住民のコミュニティの醸成及び趣味の幅を広げることによる新たな生涯学習推進の一助としていきます。コロナ禍で難しかったみんなで歌う講座「Sing Along」や「世界の料理教室」を始めます。親子向けにプレイルームを使って親子で楽しめる講座を新しく始めます。コロナ禍で中断していた「みんなの食堂」を地域と協力して再開します。

また、開館40周年ということで、通常の自主事業の規模を大きくして盛り上げます。個人情報適切に取り扱いながらLINEを活用して、事業の連絡や情報発信等に使用し、参加者の利便性向上や参加率向上に努めます。

③地域団体との連携

体育館の空調が令和3年1月に設置されたので季節を問わず利用しやすくなりました。地元の地域団体発表会や若葉台全体の防災訓練等、地域事業における地区センターの活用を推進し、野外事業における備品貸出し等の地域事業にも協力していきます。元々高齢者の利用が多い施設でしたが、最近は杖を使っている方・認知症の方も増えてきました。見守りの方法を関係施設と連携しながら、どのような方でも出来る限り安心して利用できる体制を整えていきたいと思います。

④地域施設との連携

地域施設や商店街などと連携して事業の実施を行い、イベントにも協力していきます。

⑤ひらかれた施設運営

利用者からの意見や要望について、すみやかに回答することを心掛け、要旨については同様にホームページ等で公開し、利用者の皆様と双方向の交流を進めます。

⑥住民参画の推進

多様な人材が豊富な若葉台地区の特性と当まちづくりセンターの人脈を活用し、自主事業における講師等の地域内住民を招聘する等、住民同士の新たな接点を創出します。

また、教えてみたいという人を発掘したいと思います。

⑦新型コロナ感染症対策

- ・ 横浜市のガイドラインに従い、感染予防対策に努めます。

⑧個人情報保護について

「個人情報の保護の法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。

(2) 自主事業の実施について

申込状況やアンケート結果の過年度推移等を参考にして利用者のニーズを把握します。利用状況や稼働率を分析、またコロナ禍も考慮して計画立案の方向性を検討し、継続実施の適否については、人気の有無だけでなく内容を個別に精査して判断します。地域には、様々な技能や知見をお持ちの方々が居住しているため、その人材を活用することにより、地区センターだからこそ実施可能な相互交流を深めていくこととします。団地内を総合的に管理している当まちづくりセンターの強みを活かし、地域の商店街と連携した事業をさらに発展させて魅力的な事業を展開し、地域団体や地域のイベントに協力して若葉台と一緒に盛り上げていきたいと思います。

4. 施設の運営に関する業務計画

(1) 開館日数

345日（休館日：月1回の設備点検日、年末年始休館8日）

(2) 目標稼働率（利用可能枠数に対する稼働率・コロナ禍の影響を考慮）

中会議室：60％・料理室：10％・和室：40％・工芸室：50％・体育室：85％

目標利用人数 7万人（コロナ禍の影響を考慮）

(3) 人員配置

項 目	人 数	備 考
館 長	1	
副館長	2	
コミュニティスタッフ（補助指導員2名含む）	14	
コミュニティスタッフ（作業担当）	2	

(4) 勤務体制

事務室の基本は早番（ 8：45～16：45）2名

遅番（13：15～21：15）1名

※館長、副館長、補助指導員を含め5名でのローテーション制とする。

コミュニティスタッフは14名体制。

午前（ 9：00～13：00）2名

午後（13：00～17：00）2名

夜間（17：00～21：00）2名

コミュニティスタッフ（作業担当）（8：00～11：00）1名

5 施設の管理に関する業務計画

(1) 実施業務

業務内容	実 施 者
清掃業務	再委託により実施
空調設備保守管理業務	再委託により実施
給湯ボイラー点検業務	再委託により実施
非常警報装置点検業務	再委託により実施
自動ドア保守点検業務	再委託により実施
エレベーター保守点検業務	再委託により実施

※保守管理業務年間予定表・・・別紙のとおり

(2) 緊急時対策

職員の緊急連絡網で、緊急時には職員間の連絡とともに旭区地域振興課及び病院、旭警察、旭消防署等の各機関とも速やかに連絡がとれる体制にします。

(3) 防犯・防災に関する事項

館内における防犯・防災については、自主的に対応すると同時に24時間対応の若葉台防災センターがあり、閉館後は緊急時に対応します。

また、防災訓練は年2回実施します。災害時の帰宅困難者一時滞在施設には指定されていませんが、災害ベンダー対応自販機や投光器・発電機を備えていることから柔軟に対応します。

6 自主事業に関する業務計画

(1) 自主事業の概要

提案書 様式3を利用（詳細は様式4を利用）

7 収支について

<収支予算書>

単位：円

項 目	予 算 額	備 考
収 入		
指定管理料収入	43,318,000	協議の結果に基づく
利用料金収入	2,400,000	※ネット予約システム導入による増収を見込み
事業収入	3,459,000	自主事業参加費
その他収入	1,110,000	印刷収入、自動販売機収入など
合 計	50,287,000	

支 出		
人件費	23,534,000	4(3)に基づき配置
事務費	3,531,680	消耗品、備品費、図書費、リース料等
事業費	3,715,000	6に基づき実施
管理費	14,506,320	5に基づき実施、光熱水費、保守点検等
ニーズ対応費	800,000	利用者のニーズにより実施
公租公課	2,400,000	消費税
事務経費	1,800,000	
合 計	50,287,000	

収 支 計	0	
-------	---	--

※ 収支予算の詳細は別紙参照

自主事業計画書(令和5年度)

様式3

施設名 横浜市若葉台地区センター

〈単位：円〉

事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
	②募集人数		総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費			⑤回数	指定管理料	参加費	講師謝金	材料費等
笑顔でズンバ4期	①一般	④1～3月	80,000	0	80,000	55,000	0	25,000
	②20名							
	③4000円							
バイオリンコンサート	①どなたでも	④偶数月 (8月除く)	200,000	0	200,000	100,000		100,000
	②80名							
	③500円							
WAKKAバイオリンコンサート	①どなたでも	④5.7.9月	45,000	9,000	36,000	30,000		15,000
	②24名							
	③500円							
初心者・女性限定！健康マージャン	①一般女性	④5～7月	20,000	0	20,000	0	0	20,000
	②10名							
	③2000円							
Sing Along～楽しく歌って心も軽く～	①一般	④5～7月	41,000	13,000	28,000	35,000	0	6,000
	②8名							
	③3500円							
そば打ち教室	①一般	④4～7月	60,000	0	60,000	52,000	0	8,000
	②10名							
	③6000円							
世界を楽しむ料理教室	①一般	④5～7月	40,000	16,000	24,000	24,000	12,000	4,000
	②10名							
	③6000円							
ちくせんDEごはん	①どなたでも	④未定	55,000	0	55,000	0	55,000	0
	②50名							
	③300・500円							
グラウンドゴルフ大会	①地域老人会	④10月	20,000	10,000	10,000	0	0	20,000
	②80名							
	③未定							
秋のお楽しみ みんなでお芋ほり	①幼児～一般	④11月	31,000	7,000	24,000	0	30,000	1,000
	②40名							
	③600円							
第8回健康マージャン大会	①一般	④12月	90,000	10,000	80,000	20,000	50,000	20,000
	②100名							
	③800円							
第10回地区センターまつり	①どなたでも	④9月	100,000	100,000	0	10,000		90,000
	②どなたでも							
	③無料							
合計			3,405,000	170,000	3,235,000	1,772,000	147,000	1,486,000

自主事業計画書【ワンパクホリデー】(令和4年度)

様式3

施設名 横浜市若葉台地区センター

(単位:円)

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり 参加費	④実施時期 ⑤回数	自主事業予算額					
	総経費	収入		支出				
		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費等	その他		
青少年指導員連絡協 議会 主催 ペットボトルロケット大会	①小学生親子・中学生	④7月	20,000	10,000	10,000	0	18,000	2,000
	②20組	⑤1回						
	③500円							
プレイルームにおいで よ	①未就学児と保護者	④4～3月 (8月 除く)	62,000	40,000	22,000	55,000	0	7,000
	②4組	⑤11回						
	③500円							
夏休み木工教室	①小学生	④7月	11,000	2,000	9,000	0	10,000	1,000
	②18名	⑤1回						
	③500円							
お菓子作り	①小学生	④7月、2月	29,000	17,000	12,000	14,000	12,000	3,000
	②12名	⑤2回						
	③500円							
こども化学講座	①小学生	④7月、2月	21,000	9,000	12,000	10,000	7,000	4,000
	②12名	⑤2回						
	③500円							
HIPHOP前期	①5～12才	④4～9月	72,000	0	72,000	60,000	0	12,000
	②15名	⑤全12回						
	③4800円							
HIPHOP後期	①5～12才	④10～3月	72,000	0	72,000	60,000	0	12,000
	②15名	⑤全12回						
	③4800円							
Sing Along	①小学生	④8月	23,000	8,000	15,000	18,000	0	5,000
	②5名	⑤全6回						
	③3000円							
合計			310,000	86,000	224,000	217,000	47,000	46,000

自主事業別計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リフレッシュ体操 中級コース 1～3期	骨盤矯正や音楽に合わせて動いて、心身をリフレッシュさせる。ウォーキング中心で、普段使わない筋肉を使う。	4～7月 全11回 9～12月 全11回 1～3月 全7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リフレッシュ体操 上級コース 1～4期	骨盤矯正や音楽に合わせて動いて、心身をリフレッシュさせる。インナーマッスルを強化して体を引き締める。運動に慣れている方向け。	4～6月 全12回 7～9月 全12回 10～12月 全12回 1～3月 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヨガ 1～4期	60歳以上を対象。ヨガを通じて健康づくりをする。胸を開くヨガ。	4～6月 全6回 7～9月 全6回 10～12月 全6回 1～3月 全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽楽ヨーガ 1～3期	生活ヨーガ。	4～7月 全8回 8～11月 全8回 12～3月 全8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日々ヨガ	日々の生活にヨガを取り入れて体の声を感じる時間を作る。	4～6月 全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
笑顔でズンバ 1～4期	音楽に合わせて楽しく体を動かす。	4～7月 全12回 9～10月 全8回 11～12月 全6回 1～3月 全8回

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
バイオリンコンサート	バイオリンとピアノの演奏を楽しむ。 体育室でバイオリンの演奏を聴いたり、 みんなで一緒に歌ったりなど音楽を楽しむ時間。	偶数月 5回 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
WAKKA バイオリンコンサート	近隣施設を利用して 世代向けのコンサートやナイトコンサートを行う	5月 1回 7月 1回 9月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初心者・女性限定！ 健康マージャン	賭けない・吸わない・飲まない健康マージャン。 初めてマージャンをする方向けの講座。 仲間づくりにも。	5～7月 全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Sing Along ～楽しく歌って心も軽く～	歌は聞くだけじゃもったいない！ 「オープンシンキング」で仲間たちと楽しく ハーモニーを奏でる体験をする。 ミニゲームや体操、お話もある。	5～7月 全7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
そば打ち教室	そばを打つ楽しさを知ってもらう。	4～7月 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
世界を楽しむ料理教室	家庭でも作れる世界の料理を学ぶ。ちょっとした 海外旅行のような思い出を作る。料理の材料はす べて近くのスーパーで買えるので簡単に再現がで きる。	4～7月 全4回

自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちくせんDEごはん	誰でも気軽に食べに来ることができる、温かい食事を多世代で一緒に食べる楽しさを味わう、ホッとできる贅沢な時間を過ごす、そんな場所を目指す。	未定 全3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
グラウンドゴルフ大会	かがやきクラブとの共催事業 若葉台10自治会かがやきクラブのグラウンドゴルフ同好会を中心に大会を行い、交流を図る。	10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
秋のお楽しみ みんなでお芋ほり	若葉台特有の地域性を生かし、近隣の畑まで散歩し、芋ほりをして季節を感じる。また現地では、収穫した芋の試食をして、楽しむ。	11月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第8回健康マージャン大会	若葉台地区センター40周年事業の一つとし、参加者を過去最高の100名募集で実施予定。	12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第10回 若葉台地区センターまつり エジョえじょフェスタ	今年度は発表日と展示を別日で行う（計3日）。第10回でもあることから、地区センター40周年事業の一つとして行う。	12月 1回

自主事業別計画書【ワンパクホリデー】

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
青少年指導員連絡協議会主催 ペットボトルロケット大会	親子でロケット作りを楽しむ。ペットボトルで作ったロケットの飛距離を競う。	7月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プレイルームにおいて	安定期から出産までの妊婦さんと生後1か月から未就学児と保護者向け事業。10:00から14:30の時間内はいつでもは入れ、2回のイベントで遊んだり、それ以外はおしゃべりタイムで親子ともにリフレッシュ!	4～3月 (8月除く) 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み木工教室	木片を使って木工作品をつくとともに、大工道具の扱いにも慣れる。	7月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お菓子作り	料理の楽しさを味わい、異年齢の友達と協力しあって調理することにより、友達の幅を広げる。	7月 1回 2月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども化学講座	こども化学講座は、感受性豊かな小学生から大人までが、実験を通して不思議な化学の世界を感じることができる。	7月 1回 2月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
HIPHOP 前期・後期	音楽に合わせて体を動かす楽しさを知る。今年度より2つのクラスに分け、レベルに合わせた指導となる。	4～9月 全12回 10～3月 全12回

様式4

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
SINGALONG	歌って踊って音楽を楽しむ。異年齢の友達作り。	8月 6回

令和5年度 「横浜市若葉台地区センター」 収支予算書兼決算書
(2023. 4. 1～2024. 3. 31)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	43,318,000		43,318,000		43,318,000	横浜市より
利用料金収入	2,400,000		2,400,000		2,400,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	3,459,000		3,459,000		3,459,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	1,110,000	0	1,110,000	0	1,110,000	
印刷代	290,000		290,000		290,000	
自動販売機手数料	220,000		220,000		220,000	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他（菓子販売等）	600,000		600,000		600,000	
収入合計	50,287,000	0	50,287,000	0	50,287,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,534,000	0	23,534,000	0	23,534,000	
給与・賃金	21,720,000		21,720,000		21,720,000	館長・副館長及び時給職員19名
社会保険料	1,363,000		1,363,000		1,363,000	
通勤手当	151,000		151,000		151,000	常勤職員
健康診断費	300,000		300,000		300,000	常勤職員・時給職員(健康診断・予防接種補助)
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	3,531,680	0	3,531,680	0	3,531,680	
旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	750,000		750,000		750,000	事務消耗品費
会議諸い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	3,000		3,000		3,000	
通信費	750,000		750,000		750,000	H P 保守・プロバイダー料金・電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	83,680	0	83,680	0	83,680	
横浜市への支払分	83,680		83,680		83,680	目的外使用料等
その他	0		0		0	リース経費等
備品購入費	45,000		45,000		45,000	
図書購入費	330,000		330,000		330,000	
施設賠償責任保険	97,000		97,000		97,000	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	1,400,000		1,400,000		1,400,000	コピー機・リソグラフ・バッファロー・レンタルモップ・P C・AED・コインベンダー
手数料	0		0		0	
地域協力費	40,000		40,000		40,000	地域イベントの協力費等
事業費	3,715,000	0	3,715,000	0	3,715,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	3,715,000		3,715,000		3,715,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	14,506,320	0	14,506,320	0	14,506,320	
光熱水費	8,080,000	0	8,080,000	0	8,080,000	
電気料金	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
ガス料金	5,600,000		5,600,000		5,600,000	ガス・冷温水料金
水道料金	280,000		280,000		280,000	
清掃費	456,500		456,500		456,500	日常・定期清掃費
修繕費	350,000		350,000		350,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	1,314,880	0	1,314,880	0	1,314,880	
空調衛生設備保守	320,760		320,760		320,760	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	994,120		994,120		994,120	給湯ボイラー、自動ドア、エレベーター、非常用放送設備保守、定期点検
共益費	4,304,940		4,304,940		4,304,940	
公租公課	2,400,000	0	2,400,000	0	2,400,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,385,000		2,385,000		2,385,000	
印紙税	15,000		15,000		15,000	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000	
本部分	1,800,000		1,800,000		1,800,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費	800,000		800,000		800,000	
支出合計	50,287,000	0	50,287,000	0	50,287,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	3,459,000			0	
自主事業費支出	3,715,000			0	
自主事業収支	△ 256,000			0	

管理許可・目的外使用許可収入	820,000			0	自販機・お菓子販売
管理許可・目的外使用許可支出	570,000			0	使用許可・お菓子購入代金
管理許可・目的外使用許可収支	250,000			0	

目標設定・自己評価合体版

令和5年度若葉台地区センター自己評価表

え

目標設定 の視点	あ	い	う	自己 評価
利用者 サービス	1. 利用者会議の開催及び利用者アンケートの実施（各年1回以上）及び意見箱の設置（常設）			
	2. 意見、要望、苦情に対し、その対応可否については掲示板やHPで公表する。施設改善等の意見、要望、苦情に対しては、その改修の必要性・費用を考慮して地区センター委員に諮る。			
	3. 地区センター委員会を開催し、情報収集や意見集約を図る。（年3回）			
	4. 事務室会議（月1回）とスタッフ会議（2カ月に1回）を開催し、スタッフの意識向上を図る			
	5. こどもの意見を聞くために、アンケートの実施をする。			
業務運営	1. 令和5年度は以下を目標とする。 ①利用人数は、7万人（コロナ禍の影響為） ②稼働率は、会議室 60%、工芸室 50%、和室 40%、料理室 10%、体育室 85% 部屋(会議室・工芸室・和室)の夜間稼働率 10%UP ③利用料金収入は、240万円			
	2. 自主事業 ①地域住民の年齢層に対応した事業（30事業、目標参加率6割） ②子育て世代のための親子参加型事業（5事業、目標参加率3割） ③地域団体と連携した事業（9事業、目標参加率6割） ④商店街と連携してイベントに協力・参加 ⑤「わかば子育てサポートグループ」に保育の協力をいただく ⑥「みんなの食堂」を開催			
	3. 人員体制 ①館長（もしくは副館長）及び補助指導員は開館中常時1名在館			

	②コミュニティスタッフは常時2名体制			
	4. 緊急時の対応訓練 ①若葉台合同防災訓練（年1回） ②地区センター避難訓練及びAED訓練（年1回） ③非常用発電機の取り扱い訓練（スタッフ会議時、1回以上実施） ④少人数での避難訓練（スタッフ会議時、1回以上実施）			
職員育成	1. 職員研修 ① 新人職員研修（全体研修及び個別研修）（5日間） ② 継続職員向け研修（新年度に向け共通認識）（年1回） ③ 中間期確認研修（年1回以上） ④ 高齢化が進んでいるため、認知症講座実施（年1回）			
	2. 個人情報取扱研修 ① 個人情報取扱特記事項にある研修（年1回）を実施し、誓約書の提出 ② 機密保持法令遵守制約書の提出			
財務	① スタッフ人件費削減（目標20万削減）			
	② 収入UP策を検討して実現可能なものは次年度より実施			
その他 （上記4つの視点以外の項目があれば追記）	① LINE友だち登録 目標400人 ② 地域への協力 わかば学園への清掃実習・現場実習への協力			
利用者等の意見				

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載